

町会報

えひめ

2017
10
Vol.103

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318

フォトレポート

特集

第72回国民体育大会

第17回全国障害者スポーツ大会

えがお 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会

君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え



えひめ国体 入場行進・愛媛県選手団



えひめ大会 入場行進・愛媛県選手団

第72回国民体育大会「えがお愛顔つなぐえひめ国体」が、9月30日(土)県総合運動公園陸上競技場(ニンジニアスタジアム)で開幕し、10月10日までの11日間にわたり県内各地で競技が行われた。また、第17回全国障害者スポーツ大会「えがお愛顔つなぐえひめ大会」も、10月28～30日の3日間にわたり県内各地で開催され、県内は64年ぶりのスポーツの祭典に沸いた。

とくに、本県で初の単独開催となったこの国体に向けての県民の思いは熱く、本号では各町での競技やボランティア・応援などの盛り上がりぶりを特集してお届けする。



えひめ大会 炬火点火



えひめ国体 入場行進・愛媛県選手団



えひめ国体 炬火点火

愛顔つなぐえひめ国体

天皇杯・皇后杯ともに2位

総合開会式は9月30日、天皇皇后両陛下下のご臨席のもと、全国から選手団や大会関係者をはじめボランティアや観客など、約29,000人が参加し、盛大に行われました。

式典前には、「オープニングプログラム」と県民約2,000人による集団演技「県民参加創作プログラム」が披露され、愛媛の魅力年全国からの観客にアピールしました。

競技は9月30日から県内各地の市町で行われ10月10日に幕を閉じましたが、愛媛の総合成績は天皇杯・皇后杯ともに2位で過去最高でした。

愛顔つなぐえひめ大会

メダル総数121 過去最多

開会式は10月28日、皇太子殿下ご臨席のもと、全国から選手団や大会関係者をはじめボランティアや観客など、約22,000人が参加し、盛大に行われました。

開会式は台風の影響によりあいにくの天気だったが、閉会式は素晴らしい天気に恵まれました。

競技は10月28日から3日間にわたり県内9市町で行われ、愛媛県勢は、個人競技では、メダル総数121(金54、銀30、銅37)と過去最多のメダルを獲得し、団体競技では、1競技が優勝、1競技が準優勝しました。

フォトレポート

県民総参加の下での両大会。国内一流のプレーに触れることができ、あらためて県民にスポーツの魅力が伝わった意義は大きいと思います。

また各地では、住民たちが地域ならではの「おもてなし」で選手を迎え、愛顔のたえない和やかな大会でした。

各町での熱戦の模様や盛り上がる様子を3頁以下にお届けします。



総 合 成 績

■愛媛勢の競技別得点

競 技	天皇杯		皇后杯	
	順位	得点	順位	得点
陸上	24	47.0	34	17.0
水泳	10	77.0	8	56.0
サッカー	1	142.0	2	66.0
テニス	3	58.0	3	34.0
ボート	2	191.0	2	127.0
ホッケー	7	70.0	8	30.0
ボクシング	1	44.0	9	10.0
バレーボール	8	52.0	12	28.0
体操	6	70.0	11	25.0
バスケットボール	15	35.0	9	22.5
レスリング	2	65.5	9	10.0
セーリング	1	71.0	1	53.0
重量挙げ	2	89.0	9	17.0
ハンドボール	19	22.5	15	10.0
自転車	22	23.0	15	10.0
ソフトテニス	25	10.0	14	10.0
卓球	12	26.5	5	26.5
軟式野球	9	10.0	-	-
相撲	4	40.5	-	-
馬術	2	61.0	7	20.0
フェンシング	7	43.0	10	25.0
柔道	3	75.0	1	50.0
ソフトボール	1	190.0	2	74.0
バドミントン	14	25.0	8	17.5
弓道	1	79.0	5	34.0
ライフル射撃	17	27.0	11	23.0
剣道	1	154.0	1	74.0
ラグビー	7	52.5	7	17.5
山岳	12	43.0	16	10.0
カヌー	5	76.0	5	40.0
アーチェリー	12	25.0	9	19.0

競 技	天皇杯		皇后杯	
	順位	得点	順位	得点
空手	1	112.0	1	30.0
銃剣道	1	34.0	-	-
クレール射撃	14	10.0	-	-
なぎなた	1	103.0	1	103.0
ボウリング	3	69.0	3	46.0
ゴルフ	23	10.0	9	10.0
計		2332.5		1145.0
冬 季	21	63.0	13	51.0
合計得点	12	2395.5		1196.0

■天皇杯・皇后杯都道府県別得点 (最終成績)

天皇杯 (男女総合)			皇后杯 (女子総合)		
順位	都道府県	得点	順位	都道府県	得点
1	東 京	2535	1	東 京	1282
2	愛 媛	2395.5	2	愛 媛	1196
3	埼 玉	1787.5	3	大 阪	985
4	大 阪	1784	4	愛 知	925
5	神奈川	1674.5	5	埼 玉	915.5
6	愛 知	1643.5	6	千 葉	842.5
7	福 井	1588.5	7	神奈川	835
8	千 葉	1531.5	8	福 井	825
9	福 岡	1415.5	9	兵 庫	823.5
10	北海道	1287.5	10	福 岡	767.5
11	京 都	1278.5	11	京 都	745.5
12	兵 庫	1237.5	12	岩 手	675.5
13	岐 阜	1151	13	岐 阜	664.5
14	岩 手	1125	14	岡 山	628.5
15	広 島	1123.5	15	北 海 道	628
16	岡 山	1073.5	16	広 島	615.5
17	静 岡	1071.5	17	群 馬	612.5
18	長 野	1057.5	18	静 岡	608
19	奈 良	990.5	19	長 野	606
20	秋 田	989	20	秋 田	582
21	栃 木	964	21	茨 城	558
22	群 馬	950	22	長 崎	553.5
23	茨 城	948	23	鹿児島	543

天皇杯 (男女総合)			皇后杯 (女子総合)		
順位	都道府県	得点	順位	都道府県	得点
24	長 崎	940.0	24	熊 本	542.0
25	大 分	936.5	25	山 形	541.5
26	和歌山	934.5	26	新 潟	519.0
27	三 重	909.0	26	山 口	519.0
28	石 川	906.5	28	和歌山	509.0
29	熊 本	903.0	29	奈 良	506.5
30	香 川	888.0	30	石 川	500.5
31	山 形	873.5	30	鳥 取	500.5
32	新 潟	871.0	32	富 山	500.0
33	鹿児島	864.5	33	三 重	495.0
34	宮 城	842.0	34	山 梨	488.5
35	青 森	827.5	35	島 根	488.0
36	富 山	821.0	36	香 川	464.5
37	山 梨	812.5	37	宮 城	462.5
38	島 根	806.0	38	佐 賀	462.0
39	滋 賀	802.5	39	栃 木	461.0
40	山 口	797.5	40	福 島	455.0
41	福 島	768.0	41	大 分	449.0
42	鳥 取	751.5	42	滋 賀	442.0
43	佐 賀	730.5	43	沖 縄	441.5
44	宮 崎	702.0	44	徳 島	416.5
45	沖 縄	670.0	45	宮 崎	403.0
46	徳 島	613.5	46	青 森	395.5
47	高 知	552.5	47	高 知	382.5

■天皇杯(男女総合) = 全競技終了確定

順位	都道府県	得点	(前回最終)
1	東 京	2535.0	東 京
2	愛 媛	2395.5	岩 手
3	埼 玉	1787.5	埼 玉

■皇后杯(女子総合) = 全競技終了確定

順位	都道府県	得点	(前回最終)
1	東 京	1282.0	東 京
2	愛 媛	1196.0	岩 手
3	大 阪	985.0	愛 知

上島町

軟式野球 / ウォーキング



ラグビーフットボール / グラウンド・ゴルフ

久万高原町



ホッケー / ボクシング / ライフル射撃(CP) / 卓球(身・知)(サウンドテーブルテニス(身)を含む)

松前町



砥部町

バドミントン / インディアカ / スポーツ吹矢 / グランドソフトボール(身)



内子町

ゴルフ / ライフル射撃(CP以外) / パラグライディング



バレーボール / ターゲット・バードゴルフ

伊方町



近代3種 / ゲートボール

松野町



鬼北町

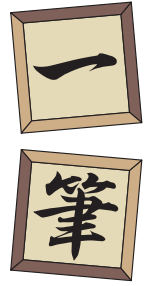
バレーボール / バスケットボール / トランポリン



愛南町

サッカー / マリンスポーツ





深まる「秋」：

柿と云えば10月。甘柿、渋柿ともに「秋」そのものである。

「柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺」これは松山出身の俳人・正岡子規が、夏目漱石から用立ての金で帰京の途中、奈良で詠んだ誰もが知る俳句。因みに今年生誕150年の正岡子規の「送られて ひとり行くなり 秋の風」「筒袖や 秋の柩に したかはす」「手向くべき 線香もなくて 暮れの秋」これらの句は、深まる「秋」とともにわびしさも感じる…。

秋はスポーツの季節でもある。昭和28年10月に「松山や 秋より高き 天守閣」(子規)下での開会式、第8回四国国体から64年ぶりの愛媛県単独による第72回国民体育大会が、今年9月30日から10月10日まで開催された。「愛顔つなぐえひめ国体」は、県下の町でも愛南町で女子サッカー、鬼北町で少年女子バレーと少年男子のバスケット、伊方町で成年女子バレー、内子町で全種別ライフル射撃と成年男子のゴルフ、久万高原町で成年男子・女子のラグビー、松前町で成年男子・女子・少年男子のボクシングと少年男女のホッケー、成年男子のライフル射撃、砥部町で全種別のバトミントン、上島町で軟式野球、松野町ではデモンストレーションスポーツの近代3種ブレ大会等々、各市での開催と

ともに盛大に開かれた。

また、スポーツの楽しい体験と障がいに対する理解と障がい者の社会参加推進を目的とした第17回全国障害者スポーツ大会が10月28日から30日にかけて開催された。これら市町をあげての連携した取り組みは、今後の地方創生の推進に繋がる先例となろう。

さて、諸外国に先んじて超高齢社会に入った我が国は、長寿を慶びとしながら、かつてのように全て右肩上がりには望めない。しかも将来への「夢」がないような有識者の論評が巷をわびしくさせる。約23年後には、全国の自治体の半数が限界集落どころか消滅する予測。高齢化率は36・1%、亡くなる人がピークに達し火葬場が不足する予測。10年後には、医療現場が崩壊(血液不足による)する。現在の人口1億2558万人は、50年後には8800万人。千年後には2000人となる予測(未来の年表「河合雅司著より」)は、国消滅である。これら数字表記は、ネガティブ一辺倒な話。

現実には、ガラリと変革する方向へ向かいたい。まず高齢者年齢の扱いと見方の変更。各分野でのAI活用。若者の『やる気』醸成・高揚。老若男女が、信頼を基盤に、一体化した少数精鋭主義で展開する社会の構築。何事にも努力し普遍的に国を支えてきた日本人には、今、新時代を創造する『意気込み』が期待される。一体化は理屈に有らず、皆の行動にある。

「われ考う、ゆえにわれあり」
(デカルト フランスの哲学者)

10月の会と催し

- ▽3日 町村議会の制度運営に関する検討委員会幹事会、全国町村議会議長会連絡調整会議、全国町村監査委員協議会幹事会
- ▽4日 平成29年度地方行財政講習会(5日まで)
- ▽5日 全国市町村水産業振興対策協議会理事会、「森林吸収源対策税制に関する検討会」打合せ
- ▽10日 平成29年度「町議会事務局職員研修会」(国際文化アカデミー研修受講)(12日まで)、全国町村会政務調査会財政委員会・経済農林委員会合同会議
- ▽11日 平成29年度愛媛地方税務協議会
- ▽12日 第65回愛媛県社会福祉大会、第58回四国地区町村議会議長会研修会
- ▽13日 鬼北町議会運営に係る研修会
- ▽16日 愛媛県市町総合事務組合臨時会
- ▽17日 全国市町村振興協会第11回業務調整研究会
- ▽18日 公平事務説明会
- ▽19日 全国山村振興連盟理事会
- ▽20日 全国町村会理事会・都道府県会長会、全国町村会政務調査会財政委員会
- ▽23日 平成29年度市町村議会議員特別セミナー(24日まで)

▽25日 町村議会の制度・運営に関する・検討委員会、全国町村議会議長会及び町村議会議員共済会正副会長会、全国町村議会議長会理事會

▽26日 森林吸収源対策税制に関する検討会(第6回)、全国町村議会議長会都道府県会長会、平成29年度消防団員等公務災害補償等全国研修会

▽28日 第17回全国障害者スポーツ大会開会式

▽30日 第17回全国障害者スポーツ大会閉会式

▽31日 平成29年度「えひめ移住交流促進協議会」第2回総会、内外情勢調査会松山支部懇談会

編集後記

本号では、64年ぶりに、しかも単独で開催された「愛顔つなぐえひめ国体」での各町の盛り上がり特集してみました。愛媛県勢は大活躍でしたね。この勢いで元気な町をつくっていきましょう。



「松山や 秋より高き 天守閣」見上げると碧く透きとおった空が広がり、うれしくなってしまう。でも秋の日のはつるべ落とし。あつという間に一日が終わってしまいます。明日から霜月、神帰月。もう冬隣です。